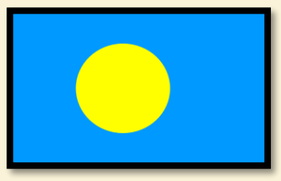
大井 真純　　パラオ

（環境教育・2019年度1次隊・京都府京都市）

［パラオ共和国］



パラオ共和国の概要
1. 面　　積：488平方キロメートル（屋久島とほぼ同じ大きさ）
2. 人　　口：17,907人（2018年、世界銀行）
3. 首　　都：マルキョク（2006年10月コロールより遷都）
4. 民　　族：ミクロネシア系
5. 言　　語：パラオ語、英語
6. 宗　　教：キリスト教
7. 通　　貨：米ドル
8. 主要産業：観光業
9. GDP　　:2.8億米ドル（2018年、世界銀行）

［お気に入りのグルメ（食）］

パラオの定番おやつ「タマ」

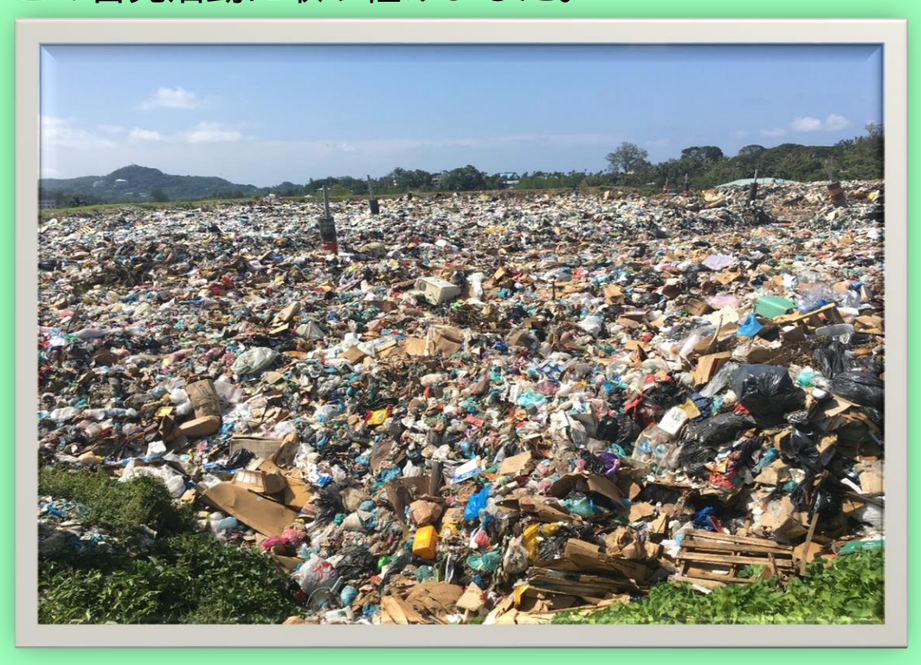
「タマ」は沖縄のサーターアンダギーに似た揚げ物です。同僚が袋にどさっと入ったタマを買ってきてよくお裾分けしてくれました。
おやつ感覚でぱくぱく食べてしまいがちですが、少しあぶらっこいので食べすぎには要注意。
「タマ」という名前は日本語から来ています。

［私の任地］

1. 任地の名前：コロール
2. 任地の人口：約 12,000人
3. 首都からのｱｸｾｽ：車で1時間ほど
4. 庶民の足　：車（公共交通機関はありません）
5. 物　　価　：レストランのランチは10～15ドルくらい
（食料をはじめとして生活必需品のほとんどが輸入なので、日本よりも少し割高です）

［活動内容］

廃棄物管理課に配属され、ごみの減量・3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進する活動を行っていました。廃棄物焼却処分場がなく、リサイクルもほとんどできないパラオでは、ごみはすべて写真のような埋め立て処分場に収集されます。同僚と一緒に、学校での環境教育活動などの啓発活動に取り組みました。



【パラオの中心・コロール州の
「ごみ」が全て集められている埋め立て処分場】

【エコバック配布】
レジ袋を減らすため、自分たちでデザインした繰り返し使えるエコバッグをスーパーで買い物客に無料配布しました。みんなでお揃いのオリジナルTシャツを着て（パラオでよく見る光景です）、イベントを盛り上げました。